



良質な農林産物集まる

南関町農林産物品評会

町は11月17日、南関町農林産物品評会をJAたまな南関総合支所で開催しました。この品評会は、町の農林産物を多くの人に知ってもらい、農業振興に寄与することを目的に毎年実施しています。

葉菜や果樹などの6つの部門に合計116点の出品があり、金賞受賞者は翌日の「ふるさと関所まつり」で表彰されました。各賞の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

金賞

- ① 猿渡 政之 = 久重(白菜)
- ② 島崎 敏裕 = 関村(生姜)
- ③ 矢野 民江 = 関下(万次郎かぼちゃ)
- ④ 橋本 勝 = 豊永(太秋柿)
- ⑤ 北原 政信 = 関東(筍)
- ⑥ 平山 富也 = 上坂下(ひのひかり)

銀賞

- 井上 繁孝 = 久重(キャベツ)
- 大佐古 武 = 関下(チンゲン菜)
- 伊藤 亨 = 久重(大根)
- 片山 弘美 = 関東(ナス)
- 津留 勝行 = 関東(みかん)
- 片山 カツ子 = 関町(ナスジャム)

審査員特別賞

- 大倉 公泰 = 小原(高菜)
- 橋本 清宏 = 久重(カブ)
- 松崎 一男 = 四ツ原(里芋)
- 井上 幸弘 = 細永(唐辛子)
- 猿渡 利和 = 関外目(ミディトマト)



「金栗四三」氏の功績を生かして

筑波大学との連結協定締結

町は、熊本県・玉名市・和水町とともに、郷土の偉人「金栗四三」氏の功績を生かし、地域振興に繋げる取り組みとして、筑波大学との連携協定を結び、協定締結式が12月1日に熊本県庁で行われました。

筑波大学(旧東京高等師範学校)は金栗氏の母校であり、金栗氏や五輪を題材にした研究や教育に力を入れています。地域振興のために、筑波大学の高度な知見やノウハウ、およびネットワークを生かすことで、より広域的・持続的な展開が可能となります。また、筑波大学としては、熊本県のフィールドを専門的研究分野の充実や人材育成に生かすなど、大学の発展につながることを期待されます。

筑波大学の永田恭介学長は「地元とのつながりを深め、金栗氏の功績を世界に発信したい」と述べました。



締結式に出席した関係者

みんなでいきいき元気な町に

健康と福祉のつどい

南関町健康づくり推進協議会(会長:佐藤町長)は11月22日、南の関うから館で「健康と福祉のつどい」を開催し、約250人が参加しました。

これは、同協議会が健やかでいきいきと暮らせるまちづくりの実現を目指して、毎年開催しています。

この日は、町社会福祉協議会から「もやい生活支援サービスについて」と、西日本新聞社生活特報部長の藤崎眞二さんの「意外、簡単、食の近道～死んでも健康になりたい～というあなたへ」と題した講演が行われ、参加者たちは真剣に耳を傾けていました。



藤崎さんによる講演



大名行列で江戸時代を再現

ふるさと関所まつり

『第30回ふるさと関所まつり』(主催:南関町まつり実行委員会)が11月18日、南の関うから館特設会場で開催されました。

名物の大名行列は住民や保育園児ら約150人が江戸時代の装いで登場し、会場周辺を練り歩きました。

大名行列のほかにも、英太郎のものまねショーや肥後にわかコント、小学生かかしコンクールや特産品・飲食物などの販売も行われ、会場はたくさんの来場者で賑わっていました。

写真の説明

①会場一帯を練り歩く大名行列②殿様役の谷口慶志郎さん(教育長)と姫様役のコーリンファイナフさん(ALT)③園児も体験!大名行列④稚児役の南本幸治郎くん⑤御茶屋跡のフォトコンテスト⑥英太郎のものまねショー⑦納豆積み対決⑧小学生かかしコンクール⑨ゆるキャラ大集合⑩キッズランドの竹ブランコ

